

愛されるリーダーになる、強い組織を作るヒントが満載

# ラグビー界の伝説 初公開の言葉も収録!

## 『平尾誠二 名言録 人を動かす120の言葉』8/29発売

株式会社宝島社(代表取締役社長:蓮見清一 本社:東京都千代田区)は、2019年8月29日(木)に、書籍『平尾誠二 名言録 人を動かす120の言葉』を発売します。



平尾誠二は、中学時代にラグビーを始め、全国高校ラグビーフットボール大会で優勝。その後、日本代表に史上最年少(当時)で選出され、大学選手権では3連覇を達成。社会人になり神戸製鋼所に入社してからは日本選手権7連覇と、勝ち続けてきた伝説のラグーマンです。平尾がなぜ勝ち続けてきたかという、プレイが秀逸だったのはもちろん、『状況判断』『勝つ瞬間を見抜く洞察力』『個を重んじるリーダー性』において特別な才覚があったからだと言継がれています。

本書は、そんな素晴らしいリーダー性を持った平尾の言葉を彼の人生の軌跡とともに集めました。勝ち続けるための組織論、人をマネジメントする方法など、平尾が亡くなっても今なお、「個」を尊重する彼の精神性はまったく色褪せることなく、現代の経営者、リーダーたちが見習うべき内容がたくさん詰まっています。また平尾がセミナー開催時に話した言葉を本書だけに特別収録! 平尾誠二好きの方でも新しい発見がある一冊です。

『平尾誠二 名言録 人を動かす120の言葉』  
2019年8月29日発売/定価: 本体1300円+税

天才ラグーマン、平尾誠二の生き様とリーダー論  
現役時代の写真と共に、心に響く120の言葉  
を選びました。

著名人絶賛!

- 第1章 自分を変える
- 第2章 リーダーとは何か
- 第3章 壁を乗り越える
- 第4章 最強のチーム
- 第5章 勝者の条件
- 第6章 常識を疑う

うまくいかないときに、いつも平尾さんを思い出します。

(京都大学iPS細胞研究所所長 山中伸弥)

平尾はいろいろな人から自分にプラスになる話を  
うまく吸収するのが得意だった。

(日本サッカー協会参与、株式会社今治・夢スポーツCEO岡田武史)

チームというのは、個人の判断や能力に任せるといって平尾誠二の  
放任主義に心惹かれました。経営者だけでなく、全ての方にとって  
生きるヒントになる言葉が詰まっています。



編集長  
宮川亨



関西弁で「ほな、行くでえ」でいいわけですよ。  
この言葉に全部凝縮されている感じがある。  
(p224「常識を疑う」より)

平尾誠二(ひらお せいじ): 1963年、京都市生まれ。中学時代にラグビーを始め、高校時代より頭角を現す。神戸製鋼所に入社後は日本選手権7連覇。W杯に3大会連続出場。34歳のときにラグビー日本代表監督に就任し、チームを勝利へと導く。NPO法人SCIX(シックス)を設立し、スポーツで日本の社会を元気にする活動に従事。享年53。